

2021～2022 年度



**We Serve**

ライオンズクラブ国際協会 337-C 地区

## 「アラートフォーラム in 佐世保 2022」

日 時	2022 年 6 月 11 日 (土)	
	受 付	12 : 30 ~ 13 : 00
	フォーラム	13 : 00 ~ 16 : 30
	懇 親 会	18 : 30 ~ 20 : 30
場 所	フォーラム	アルカス佐世保
	懇 親 会	セントラルホテル佐世保

ライオンズクラブ国際協会 337-C 地区

キャビネット事務局

〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙 1282

TEL 0954-20-4220

FAX 0954-20-4377

E-mail lc337-cb@sirius.ocn.ne.jp

http://lc337c.jp

## 「アラートフォーラム in 佐世保 2022」

司会 : 337-C 地区 1R・環境保全・アラート委員会委員  
L古川 洋之

1. 開会宣言並びに開会ゴング 337-C 地区ガバナーエレクト L 濱田 浩平
2. 国旗・ライオンズ旗に敬礼
3. 国歌並びにライオンズ・ヒム斉唱
4. 来賓の皆様・参加者のご紹介 337-C 地区 1R・環境保全・アラート委員会委員  
L古川 洋之
5. ガバナー挨拶 337-C 地区ガバナー L久田 裕己
6. Zoom メッセージ 一般社団法人日本ライオンズ副理事長・アラート委員長  
333 複合地区ガバナー協議会議長 L山川 洋
7. フォーラム・パネルディスカッション 講師・パネラー紹介  
337-C 地区環境保全・アラート委員会委員長  
L石永扶佐夫
- 休 憩
8. ワークショップ (グループディスカッション)  
337-C 地区環境保全・アラート委員会委員  
L荒川 明敏
9. ガバナー総評 337-C 地区ガバナー L久田 裕己
10. 閉会宣言並びに閉会ゴング 337-C 地区第 1 副地区ガバナーエレクト L古賀 義行

# パネルディスカッション

## パネリスト紹介

佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 課長

福田 功 様

一社) 日本ライオンズ アラート委員会 西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

337-C 地区 ガバナー

L 久田 裕己

337-D 地区 ガバナー エレクト

L 高田 啓世

337-C 地区 2R・4Z・ZC

L 八木 正勝

モデレーター

一社) 日本ライオンズ アラート委員会 MD332 副班長

332-A 地区 アラート特別委員長

L 木村 知紀

2021～2022 年度ライオンズクラブ国際協会 337-C 地区

アラートフォーラム in 佐世保 2022 実施要領

日時：2022 年 6 月 11 日 13：00～20：30

研修会名	講師	演 題	タイム
開会セレモニー	ガバナー挨拶 ズームメッセージ	セレモニー 337-C 地区ガバナー L 久田 裕己 一般社団法人日本ライオンズ 副理事・アラート委員長 L 山川 洋	13：00～
第 1 部 フォーラム	一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会西日本エリア リーダー L 坂本 恵市 (松原 LC)  332-A 地区アラート 特別委員長 L 木村 知紀	「今までのアラートから これからのアラート」  パネルディスカッション 日本レベル・地区・社会福祉協議会・ 被災地～それぞれの思い	13：20～  14：30
休 憩			14：30～ 14：45
第 2 部 ワークショップ	進行 337-C 地区 3R・環境保全・ アラート委員会委員 L 荒川 明敏	グループディスカッション シミュレーション：激甚級の災害が 発生しました…あなたはどうか処 理しますか？	14：45～  16：30
第 3 部 懇 親 会	337-C 地区 2R・環境保全 アラート委員会委員 L 田中健一	歓迎の言葉：337-C 地区ガバナー L 久田 裕己 ご挨拶：337 複合地区ガバナー 協議会議長 L 古川 隆 乾杯：337-E 地区ガバナー L 宮川 貞雄 ライオンズ・ローア：337-B 地区 ガバナー L 佐藤 哲章 閉会の言葉：337-C 地区ガバナー エレクト L 濱田 浩平	18：30～  20：30



## 【アラート活動を行うための必須項目①】

- アラート準備金(緊急災害支援準備金)の確保  
(※緊急時に理事会・例会の承認を経ず即刻拠出できる資金)  
⇒ これがないとアラート活動そのものができません。



HELP!!

## 【アラート活動を行うための必須項目③】

- 地元の社会福祉協議会との親密な関係を構築する  
(※どこよりも迅速に正確な被災地の情報はまず社協に入る)  
⇒ より早く的確にムダのないアラート活動のためには、最新の正確な情報が絶対に不可欠です。

全国社会福祉協議会(全社協)

都道府県・指定都市社協 (59)

市区町村社協 (3, 370)

クラブと市町村社協、  
準地区と都道府県社協  
など  
それぞれのレベルで災害協定を  
締結するのが理想的です

(支援の内容)

第2条 本協定により、甲が乙に対し協力を要請する内容は、次のとおりとする。

- (1) 被災地内外におけるボランティアの移動にかかる輸送手段(車両等)の手配・提供
- (2) 被災地災害ボランティアセンターおよび被災地外のボランティア活動支援拠点(以下「ボランティア支援拠点」という。)の設置・運営及び被災地でのボランティア活動のための資機材の提供
- (3) ボランティア支援拠点におけるボランティア活動者のための駐車スペース確保への支援
- (4) 乙の会員の専門性を活かした物的および人的支援の提供
- (5) ボランティア支援拠点におけるボランティア活動者への飲食(炊き出し等)の提供
- (6) その他ボランティアの活動支援にかかること
- (7) 前各号に掲げるもののほかに、特に要請のあった事項

## 【各地区・アラート委員会に望まれること③】

- 情熱ある有志を募り、地区のアラートチームを作る

- ⇒ 自分の職業やスキルを活かして災害支援の奉仕をやりたい！  
というメンバーは数多く居る。(実働ボラ・炊出し・物資調達・運搬・心身ケア・傾聴・通訳 etc.)
- ⇒ 人道奉仕の感動が得られ、メンバーとしての「やりがい」に直結する。
- ⇒ 単年度交代では知識・経験の積み上げができないので期首更新制に。

(※定期的な勉強会を開催し、必要な専門知識やスキルを習得)

